

子どもの気を引く仕掛けが!



文部科学省も推進する「ICT教育」。グローバル教育という側面から見て、それにはどんなメリットがあるのか、今後どう付き合つたらいのか? そんなお話を、竹山誠二さんと一緒にしました。

「オンラインで読める教材や授業など、いまICTの素材はどんどん増えています。わりとリーズナブルな手段で、いくらでも世界中のさまざまな教育プログラムどながれるようにならなければなりません。一方で、デジタルならではの仕組みがあるのも魅力。本校で取り入れているICTプログラムの一つに英語の『速読』があるんですが、画面に英文が頭からボンボンとプロック単位で出てくるので、必然と目で追いかけて、リズミカルに動くので子どもたちも飽きずに取り組めるんです。また、いわゆる『前に戻る読み方』にもつながります。結婚の関係代名詞は、日本の従来の教え方だと『これがここにかかるはず』などと先のことから、こっちから訳して…』という

「ICTはコンピューターを使うこと自体が肝ではなく、生の体験と合わせ持つことが大切。例えば、タブレットを使って横でライティングしてみると、Zoomを使って外国人教師による発音の可能性なのです」

子どもたちのフィールドは世界

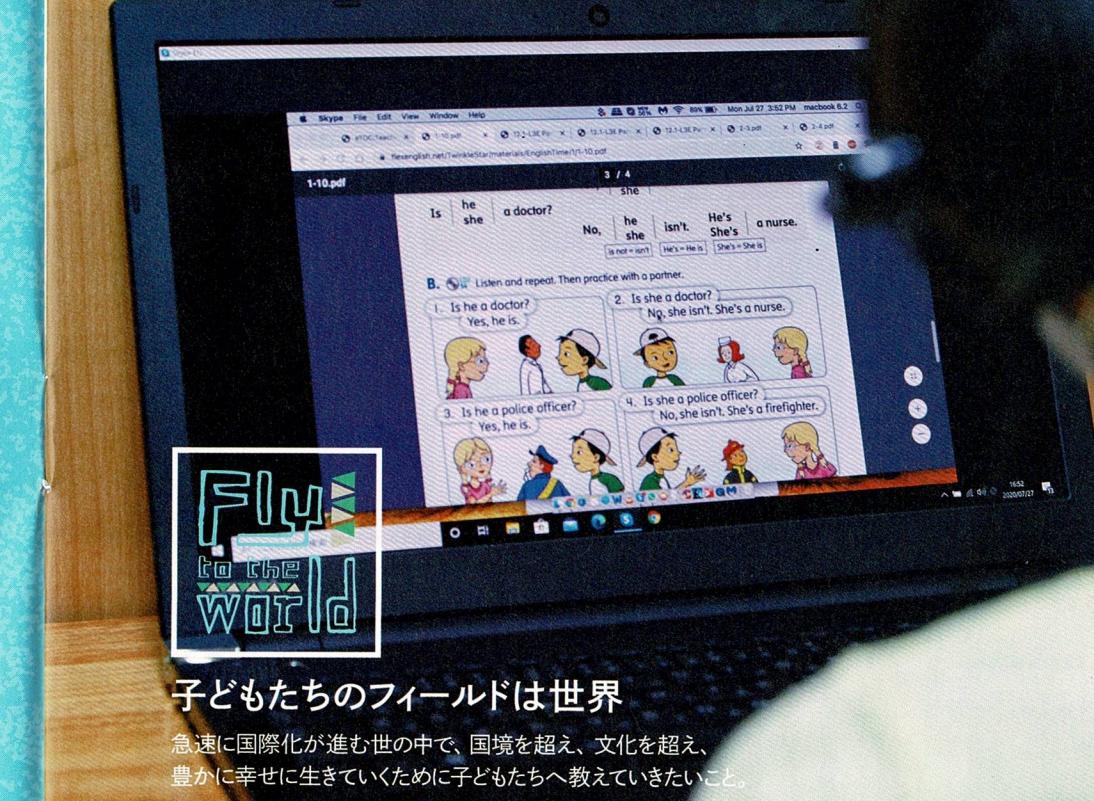
急速に国際化が進む世の中で、国境を超えて、文化を超えて、豊かに幸せに生きるために子どもたちへ教えていきたいこと。

連載 Vol. 6 オンラインでもっと世界へ羽ばたこう

「ICT」で一步先のグローバル教育を!

昨今のコロナ禍の影響で、教育の場にもオンラインが浸透してきた日本。その先の未来について考えてみませんか?

デザイン/秋吉佐弥佳 構成・文/宮原友紀



iPadとコンピュータを使って行われるICTクラス。タッチして視覚的に動きを楽しむ学習、タイピングで書き込んでいく学習など、プログラムによって使い分けている。大人が想像する以上に子どもたちのハードウェアへの慣れは早いんだとか。

学習もするけれど、親御さんが外國語の絵本の読み聞かせもしてあげる。また、大人が子どもの様子をよく観察し、理解度に合わせてオンライン上のさまざまな便利なツールを選んであげることも大切だと思います。

そして、自宅やアフタースクールでICT教育を受ける半面、学校の授業ではもっと生身でできる体験として、より有効的に豊かな時間を過ごしてほしいなとも思います。まだまだ先生からの一方的な情報に受け身な姿勢の学習スタイルが一般的のように感じます。もっと皆で触れ合いを楽しんだり、ディスカッションしたり、ディベートしたり、インターネットでアクトライブな学習の場であってほしいなど。一つの正解だけでなく、子どもが違う意見を言っても先生

が“面白いね”と言つて一緒に考へてくれたり、先生は見守りつづけただけで考え方を教える。子どもたちを見ていて、そういうがら答えを出していく。僕の生徒たちを見ても、そういう時間こそが本当の意味で記憶に残る勉強になっているような気がするんですね。

結局、ICT教育が目指すところは、生の体験で先生や生徒同士のやり取りの中から各々の自主性を育み、オンラインでは各自の理解度を深め補うという、それぞれの長所の使い分けなんだと思いま

るんですね。ICTの一番の魅力は、個人の進度に合わせて進められるところ。各々のお子さんによって得意なこと、苦手なことは違うはず。それぞれです。そんな個別のニーズをしっかりと見極めて、その子に必要なサポートをしてあげられることが魅力だと感じています。いわゆる一斉授業だと、わかつてゐる子は退屈と感じるが、さなればならないし、逆にわからないう子は必要な土台がないのにどん

人と比べずに自分のペースで



お話を伺ったのはこの方!
トゥインクルスター・インターナショナルスクール
竹山誠二校長

トゥインクルスター・インターナショナルスクール
東京都練馬区豊玉北4-29-11
<http://www.twinkle-star.info/>

今回紹介するICTプログラムの他、経験豊富な外国人教師たちによる幼児教育を行うプリスクールやキンダーガーテンプログラム、小学生も受け入れるアフタヌーンプログラム、アートやダンスなどのアクティビティクラスを設けるスクール。アットホームな雰囲気で英語習得のみならず、国際感覚や広い視野を育てている。

竹山校長先生がオススメする 自宅でもできる「ICT教材」

『英検ジュニア』

<https://www.eiken.or.jp/eiken-junior/>

「小学校低学年から受けられて、オンラインでテストを受けることも可能。ブロンズ、シルバー、ゴールドとレベルをステップアップしていくので、子どものモチベーションの向上につながります」

『オックスフォードリーディングクラブ』

<https://www.oxfordreadingclub.jp/>

「オックスフォード大学出版局のグレイディッド・リーダー12シリーズ、約900冊が読み放題。簡単なレベル・テストの後、5ステップリーディング機能を使いながらリーディングを楽しむことができます。活用するとぐんぐん伸びます」

ICTを取り入れた個別指導を行なう東京のトゥインクルスター・インターナショナルスクール校長、竹山誠二さんと一緒に伺いました。

「オンラインで読める教材や授業など、いまICTの素材はどんどん増えています。わりとリーズナブルな手段で、いくらでも世界中のさまざまな教育プログラムどながれるようにならなければなりません。一方で、デジタルならではの仕組みがあるのも魅力。本校で取り入れているICTプログラムの一つに英語の『速読』があるんですが、画面に英文が頭からボンボンとプロック単位で出てくるので、必然と目で追いかけて、リズミカルに動くので子どもたちも飽きずに取り組めるんですね。また、いわゆる『前に戻る読み方』にもつながります。結婚の関係代名詞は、日本の従来の教え方だと『これがここにかかるはず』などと先のことから、こっちから訳して…』という



お話を伺ったのはこの方!
トゥインクルスター・インターナショナルスクール
竹山誠二校長

トゥインクルスター・インターナショナルスクール
東京都練馬区豊玉北4-29-11
<http://www.twinkle-star.info/>

今回紹介するICTプログラムの他、経験豊富な外国人教師たちによる幼児教育を行うプリスクールやキンダーガーテンプログラム、小学生も受け入れるアフタヌーンプログラム、アートやダンスなどのアクティビティクラスを設けるスクール。アットホームな雰囲気で英語習得のみならず、国際感覚や広い視野を育てている。



*1 ICT=Information and Communication Technology
の頭文字をとった略語。「ICT教育」とは、IT技術を使ってコミュニケーションをとるためのことを指す。
*2 Zoom=パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミニセミナーを開催するための開発されたアプリ